

## [報告]

### プレスリリース報告

平成 29 年 6 月 27 日、以下の内容でプレスリリースしましたのでご報告いたします。

## **City Wi-Fi Roaming 大学としては世界初参加 - 世界中でつながる次世代ホットスポット (NGH) と eduroam の連携を推進 -**

#### 【発表のポイント】

- ・次世代ホットスポット (NGH)<sup>注1</sup>の実証実験システムを開発し、「City Wi-Fi Roaming トライアル<sup>注2</sup>」を通じて世界の NGH 基盤に接続しました。これにより公衆無線 LAN の安全性向上 (セキュア化) や利便性向上、スマートシティの基盤構築などに貢献します。
- ・携帯電話やプロバイダなどのアカウントを利用することで、訪問先ごとの手続きなしに、世界のフリー Wi-Fi を安全かつ自動接続で使える仕組みを提供します。
- ・大学等で広く利用される学術系無線 LAN ローミング基盤 eduroam (エデュローム)<sup>注3</sup>のアカウントで、公衆無線 LAN を安全に利用できるようになり、ICT を活用した教育・研究環境の拡充に貢献します。

#### 【概要】

東北大学サイバーサイエンスセンターの後藤英昭准教授らの研究グループは、同教員が開設し幹事を務めている「セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会 (<http://nghsig.jp/>)」とともに、Wireless Broadband Alliance (WBA) による「City Wi-Fi Roaming トライアル」に参加しました。このトライアルにおいて、世界の通信事業者との共同作業により、次世代ホットスポット (NGH) の導入・普及を促進するための課題整理、技術開発、実証実験等に取り組みます。期間中に国内数か所に設置する NGH 対応基地局でサービス提供するほか、大学等キャンパス無線 LAN との連携を通じて、ICT を活用した教育・研究環境の拡充を目指します。

#### 【詳細な説明】

後藤英昭准教授らの研究グループおよび「セキュア公衆無線 LAN ローミング研究会」では、これまで、次世代ホットスポット (NGH) 関連システムの研究開発や啓発活動のために、NGH テストベッド (実験システム) の開発および運用方法の検討などを進めてきました。今回、このテストベッドが国際的な NGH ハブに接続され、「City Wi-Fi Roaming トライアル」における無線 LAN 相互利用が実現しました。大学として、本トライアルへの参加は、世界初の事例となります。世界の通信事業者との共同作業により、次世代ホットスポット (NGH) の導入・普及を促進するための課題整理、技術開発、実証実験等に取り組むことで、国内外における公衆無線 LAN の安全性向上 (セキュア化) や利便性向上、スマートシティの基盤構築などに貢献します。

トライアル参加のもう一つの目的に、学術系無線 LAN ローミング基盤 eduroam (エデュローム) と公衆無線 LAN を連携させる技術・仕様の開発があります。eduroam は、大学や研究機関の間でキャンパス無線 LAN の相互利用を実現し、ネットワーク時代の教育・研究を支えるインフラとして重要性が評価されています。キャンパスを超える、市街地における eduroam 利用のニーズが国内外で大きいものの、従来、その実現はごく一部の都市に限られていました。今回のトライアル参加は、世界の eduroam

関係者の中で初のものであり、世界のフリーWi-Fi との連携を通じて、実用化についての知見を蓄積し、世界の教育・研究基盤の発展・拡充を目指すものです。

**【用語説明および参考 URL】**

注1 次世代ホットスポット (NGH, Next-Generation Hotspot) :

Wireless Broadband Alliance (WBA)が提唱する、公衆無線 LAN を快適・安全に利用できるようにするための技術や運用ルールなどを取りまとめた仕様。現在は事業者ごとに異なるアカウント(利用者 ID)が必要だったり、盗聴や偽基地局による犯罪に対して無防備だったりする公衆無線 LAN(フリー Wi-Fi を含む)を置き換え、携帯電話並みの使い勝手を実現するもので、ICT 技術を活用する新しい都市「スマートシティ」を支える基盤の一つとしても期待されている。

注2 City Wi-Fi Roaming トライアル :

WBA が主催し、世界各地の都市で提供される公衆無線 LAN を NGH 基盤で結ぶことにより、ひとつのアカウントで相互利用(ローミング利用)できる環境を構築しようとする、世界規模のトライアル。2016 年にニューヨーク、サンフランシスコ、サンノゼ、シンガポールを結ぶ第1回が開催された。第2回目となる2017年は、6月20日のWorld Wi-Fi Day を起点とする8月末までの期間、20程度の都市を結んで開催される。

City Wi-Fi Roaming: <http://worldwifiday.com/city-wi-fi-roaming/>

注3 eduroam (エデュローム) :

欧州で2003年に開発が始まり、TERENA(現 GÉANT)で実用化された、教育・研究機関などのキャンパス無線 LAN の相互利用(ローミング)を実現するシステム。現在89か国が加盟し、国内では181機関が参加している。日本では東北大学が2006年に初導入し、eduroam JP の名称で、現在は国立情報学研究所によって運用されている。大学キャンパス内ばかりではなく、日本では主に関東圏、一部の国では空港・駅、市街地無線 LAN にも導入されている。海外では病院への導入事例も多く、近年では初等・中等教育機関への導入も進められるようになり、学術・教育関係の世界標準の基盤となっている。

eduroam (世界): <https://www.eduroam.org/>

eduroam JP : <https://www.eduroam.jp>

**【問い合わせ先】**

(研究に関すること)

東北大学サイバーサイエンスセンター

担当 後藤英昭

電話 022-795-6090

E-mail [nghsig@rd.cc.tohoku.ac.jp](mailto:nghsig@rd.cc.tohoku.ac.jp)

(報道に関すること)

東北大学情報部情報基盤課総務係

電話 022-795-3407

E-mail [som@cc.tohoku.ac.jp](mailto:som@cc.tohoku.ac.jp)